

IOA 2008

第11回国際視能矯正学会議

開催日：2008年5月28日～31日

開催地：アントワープ・ベルギー

出席旅行のご案内

会議概要

最新情報は会議事務局ホームページにてご確認ください

学会場	The Flanders Congress & Concert Centre
事務局WWW	http://www.ioa2008.org
演題締切日	2007年10月1日(締切済)



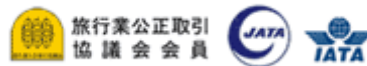
トラベルネットスタジオIC(国際会議)事業部

旅行企画・実地 株式会社 旅工房

国土交通大臣登録旅行業第1683号

(社)日本旅行業協会正会員/IATA(国際航空運送協会)公認代理店

<http://www.tnsic.com> 営業時間：月～金 9:30～18:00(土日祝休み)



お申込・お問合せ先

東京本社	〒171-0021 東京都豊島区西池袋 5-14-8 東海池袋ビル7F	旅行業務取扱管理者：柴田秀治
	TEL:03-5956-3020 FAX:03-5956-4487	e-mail: tyo@tnsic.com 担当：齊藤寿美
大阪支店	〒564-0053 大阪府吹田市江の木町 1-38 西谷東急ビル7F	旅行業務取扱管理者：藤嶋知弘
	TEL:06-6310-8421 FAX:06-4861-7261	e-mail: osa@tnsic.com 担当：藤嶋知弘
福岡支店	〒810-0001 福岡市中央区天神 3-15-17 三天第2ビル1F	旅行業務取扱管理者：円尾徳啓
	TEL:092-738-2607 FAX:092-716-3910	e-mail: fuk@tnsic.com 担当：円尾徳啓

旅行業務取扱管理者とはお客様の旅行を取り扱う営業所での取引に関する責任者です。このご旅行の契約に関し、担当者からの説明にご不明な点がございましたらご遠慮なく上記の旅行業務取扱管理者にご質問下さい。

* 旅行業務取扱管理者とはお客様の旅行を取り扱う営業所での取引に関する責任者です。このご旅行の契約に関し、担当者からの説明にご不明な点がございましたらご遠慮なく上記の旅行業務取扱管理者にご質問下さい。

会議出席基本コース <利用予定航空会社：ルフトハンザ・ドイツ航空（5泊7日間）>

日数	月/日(曜日)	都市名	現地時間	交通期間	摘要	食事	
1	5/27(火)	東京(成田)発	09:55	LH711	各地より空路フランクフルトへ。フランクフルト乗り換えにてブリュッセルへ。そこから専用バスにて会議開催地アントワープへ。	機内	
		大阪(関空)発	09:55	LH741			
		名古屋(中部)発	10:30	LH737			
		フランクフルト着	午後				
		フランクフルト発	17:15	LH4584			
		ブリュッセル着	18:10				
		ブリュッセル発		専用バス			
		アントワープ着					
2	5/28(水)	アントワープ滞在	第11回国際視能矯正学会議ご出席			<アントワープ泊>	朝
3	5/29(木)						朝
4	5/30(金)						朝
5	5/31(土)						朝
6	6/01(日)	アントワープ発		専用バス	朝、専用バスにてブリュッセルへ。空路、フランクフルト乗り換えにて、各地に向け帰国の途へ。	機内	
		ブリュッセル着					
		ブリュッセル発	11:05	LH4573			
		フランクフルト着	12:05				
		フランクフルト発	午後	LH便			
7	6/02(月)	東京(成田)着	07:40	LH710	着後、入国審査・通関。	機内	
		大阪(関空)着	08:15	LH740			
		名古屋(中部)着	08:55	LH736			

オプションコース 1(OP-1) : ベルギーハイライトの旅

日数	月/日(曜日)	日程				食事
6	6/01(日)	専用バスにてブルージュエ。到着後、市内観光。ベギン会院(世界遺産)、聖母教会、市庁舎、マルクト広場、鐘楼(世界遺産)等を観光致します。(ブルージュエ泊)				朝 昼
7	6/02(月)	専用バスにてゲントへ。到着後、市内観光。ファン・アイク兄弟作の祭壇画「神秘の子羊」で有名なセ聖パーフ大聖堂へ。鐘楼(世界遺産)、市庁舎を見学後、運河を散策。その後ブリュッセルへ向かいます。(ブリュッセル泊)				朝 昼
8	6/03(火)	専用バスにて市内観光。グランプラス広場(世界遺産)、小便小僧、サブロン広場、サン・ミッシェル大聖堂、イロ・サクレ、ギャラリー・サン・チュベール(アーケード)等を見学。(ブリュッセル泊)				朝 昼
9	6/04(水)	ブリュッセル発	11:05	LH4573	専用バスにて空港へ。空路、フランクフルト乗り換えにて、各地に向け帰国の途へ。	朝
		フランクフルト着	12:05			
		フランクフルト発	午後	LH便		機内
10	6/05(木)	東京(成田)着	07:40	LH710	着後、入国審査・通関。	機内
		大阪(関空)着	08:15	LH740		
		名古屋(中部)着	08:55	LH736		

オプションコース 2(OP-2) : ベルギー・ルクセンブルグの旅

日数	月/日(曜日)	日程				食事
6	6/01(日)	専用バスにてブリュッセルへ。グランプラス広場(世界遺産)、小便小僧、ギャラリー・サン・チュベール(アーケード)等を観光。昼食後、大学の街ルーヴェンへ。到着後市内観光。ルーヴェン市庁舎、ルーヴェン大学、昔のままの大ベギン会院、聖ペトロ教会を訪れます。その後、ブリュッセルに戻ります。(ブリュッセル泊)				朝 昼
7	6/02(月)	専用バスにてアルデンヌ地方のナミュールへ。その後、ムーズ川沿いにディナンへ。市内散策やケーブルカーで城砦へ。ヴェーヴ城を外から観光し、森に囲まれたオルヴァルへ。昼食後、オルヴァル修道院を見学し、ブイオンへ。第一次十字軍を率いたゴドフロワ・ド・ブイオン公の居城を訪れます。(ブイオン泊)				朝 昼
8	6/03(火)	専用バスでルクセンブルグへ向かいます。到着後、大公宮、ダルム広場、憲法広場、ノートルダム大聖堂、ポックの砦などを見学します。(ルクセンブルグ泊)				朝 昼
9	6/04(水)	ルクセンブルグ発	10:40	LH2397	専用バスにて空港へ。空路、フランクフルト乗り換えにて、各地に向け帰国の途へ。	朝
		フランクフルト着	11:30			
		フランクフルト発	午後	LH		機内
10	6/05(木)	東京(成田)着	07:40	LH710	着後、入国審査・通関。	機内
		大阪(関空)着	08:15	LH740		
		名古屋(中部)着	08:55	LH736		

発着時刻・便名等は予告なく変更される場合がございます。

【上記以外の日本国内空港よりお越しの方 接続可能な日本国内線を併せて手配致します】

* 追加料金が必要です。* スケジュールは担当までお問い合わせ下さい。

* お申し込みを承りましてからの手配になります為、満席の場合には最適な便をご用意できない場合がございます。ご了承下さい。

各コース共通旅行条件

- 最少催行人員...基本コース15名
OP1/2コース10名
- 添乗員同行の有無...添乗員は同行しません。
但し参加者が30名様以上となった場合は添乗員
又は現地係員がお世話致します
- アントワープでの空港/ホテル間送迎...有り
(最少催行人数に達した場合に限ります。)
- 食事...日程表に記載。

- 利用予定ホテル...De Keyser Hotel (アントワープ)
Martins(ブリュージュ)、Bedford(ブリュッセル)、La Porte de
France(ブリュッセル)、Novotel(ルクセンブルグ)
- *お申込先着順受付にて満室になり次第、
販売終了致します。
- *航空券だけの手配も可能です。
- *ホテルのみの手配はご遠慮下さい。

フリープラン 担当に相談下さい

希望の出発日・帰国日で
航空便はビジネスクラスで
希望の航空会社で

他都市も訪れたい
札幌/福岡/などの都市より出発
航空券だけの手配

小グループツアー手配
(家族旅行・同期会・視察など)

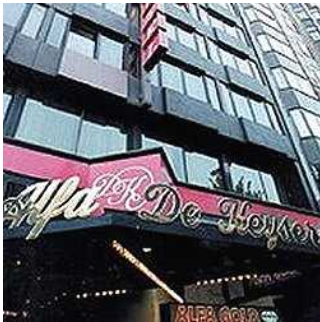
De Keyser Hotel

デ カイザー ホテル

【全123室】

部屋指定なし

中央駅から徒歩約3分のところに位置するホテル。落ち着いた雰囲気のある近代的なホテル。旧市街へは徒歩約15分。周辺にはレストランや店舗が並び、観光にもビジネスにも便利。学会場へも徒歩圏内です。ブリュッセル国際空港からバスで約1時間。



写真はすべてイメージです。

ホテルについて：2人用のお部屋には、ベッドが2台のツインルームと大型ベッド1台のダブルベッドルームの2種類があります。当社では、2人用のお部屋は原則として「ツインルーム」をご用意致しますが、ご夫婦などカップルでご参加の場合や12歳未満のお子様のご参加の場合はダブルベッドルームとなる場合があります。その場合でも返金などはございません。また、ツインルームには2つのベッドマットが離れていないタイプや2つのベッドのサイズや種類が異なるタイプの部屋が含まれております。また、ホテルやカテゴリーによってはダブルベッドルームのお部屋しか無い場合がありますが、この旨を明示した場合はカップル以外でご参加の場合もダブルベッドルームご利用となります。1名様または奇数人数でご参加の場合、他のお客様との相部屋はお受けしておりません。お部屋を1名様で利用する場合は一人部屋利用追加料金が必要となります。また、偶数人数でお申込の場合、取消料対象期間内に旅行契約を解除され、一人部屋利用が発生する場合は、契約解除されたお客様から所定の取消料を申し受ける他、一人部屋利用となるお客様から一人部屋利用追加料金を申し受けます。一人部屋は原則としてシングルベッドルームになるため、二人部屋より手狭になる場合がございます。

【旅行代金】ビジネスクラスでの航空便利用を希望の方は担当まで追加料金をお問い合わせください

5泊7日間	成田発着	関空発着	中部発着	一人部屋利用追加料金
会議出席基本コース	¥259,000	¥249,000	¥258,000	¥60,000
オプションコース 1	¥364,000	¥353,000	¥362,000	¥97,000
オプションコース 2	¥372,000	¥361,000	¥370,000	¥93,000

著しい経済情勢の変化等により航空運賃が増減された場合、旅行代金を増減させて頂く場合がございます。予めご了承下さい。

申込方法

- (1) ツアー参加申込書にご記入の上、当社（申込書下段に記載）へFAXまたは郵送にてお送り下さい。
- (2) 同時に申込金70,000円を下記口座へお振込み下さい。
申込金は旅行代金の一部として組み込まれ、旅行代金残金ご請求時に差し引かせて頂きます。
旅行契約は当社が予約の承諾をし、申込書と申込金を受領した時に成立するものとします。
- (3) 旅行代金残金を平成20年5月26日までにお振込み下さい。

振込先	銀行名	三井住友銀行 池袋支店		
	口座	株式会社 旅工房	普通預金	No. 2995760

旅行契約の解除（旅行キャンセル）

お客様は旅行契約が成立した後、以下の取消料をお支払い頂く事により、旅行契約を解除できます。「旅行契約の解除期日」とはお客様が当社の営業時間内（月～金の09:00～17:45、土日祝日休業）にお申し出頂いたときを基準とします。E-mailでのお申し出はサーバーに着信した時点が正式な期日とし、営業時間内に限ります（営業時間以降は翌営業日と致します）。

旅行契約解除期日	取消料
旅行開始の前日から起算してさかのぼって30日目に当たる日以降3日前に当たる日まで	旅行代金の20%
旅行開始の前日以前	旅行代金の50%
旅行開始後の解除、または、無連絡不参加の場合	旅行代金の100%

旅先の安全と衛生について

渡航先によりましては「外務省海外危険情報」が出されております。
『外務省海外安全ホームページ（www.pubanzen.mofa.go.jp）』にてご確認ください。衛生状況は『厚生労働省検疫感染症情報ホームページ（www.forth.go.jp）』にてご確認ください。

海外旅行傷害保険ご加入のお勧め

万が一に備えてのご加入をお勧め致します！
クレジットカード付帯の保険は利用条件の制限などで内容が不十分な場合がございます。出発前に必ずご利用カード会社に利用条件・保険金額・補償内容をご確認下さい。
保険加入をご希望の方は、海外旅行保険申込書を当社までお申し付けください。

ベルギー入国条件

日本国籍の方で普通旅券をお持ちの方は、3ヶ月以内の滞在はビザ不要です。滞在日数+3ヶ月以上有効なパスポートと往復航空券の提示が入国時に必要です。
公用旅券で渡航の方、外国籍の方は担当までお知らせ下さい。

現在お持ちの旅券が今回の旅行に有効かどうかの確認、旅券・査証取得はお客様の責任で行ってください。（日本国籍以外の方は自国・渡航先国の領事館、入国管理事務所にお問合せください。）

- 詳しい旅行条件を説明した書面をお渡し致しますので、事前にご確認の上、お申し込み下さい。
- ここに記載無き事項・その他旅行条件は当社募集型企画旅行約款に準じます

パンフレット作成日：2007年11月1日

申込日：200 年 月 日

第 1 1 回 国際視能矯正学会議ご出席旅行申込書

別紙パンフレットに記載の旅行条件及び旅行手配のために必要な範囲内での運送・宿泊機関等その他への個人情報の提供について同意の上、標記学会参加の以下の旅行に申し込みます。

フリガナ 氏名： (男 / 女)	生年月日：西暦 年 月 日 (満 歳)
パスポートに印字されたローマ字の氏名 (重要)：(例：TARO NIPPON)	出生地： 国 都道府県
パスポート番号：	発行日： 年 月 日 満了日： 年 月 日
職業：	英文職業名： (例：Medical Doctor)
勤務先： _____	所属： _____ 役職： _____
勤務先住所： 〒 _____	
電話：(_____) _____	内線 _____ FAX：(_____) _____
連絡用 Eメール：	
フリガナ 現住所： 〒 _____	
電話：(_____) _____	FAX：(_____) _____
希望コース：	会議出席基本コース オプションコース1(ベルギー・ハイライトの旅) / オプションコース2(ベルギー・ルクセンブルグの旅) 東京発着 / 大阪発着 / 名古屋発着 その他の空港からの発着希望 (往路： 空港 / 復路： 空港) エコミークラス(座席指定は承れません。) / ビジネスクラス(航空機座席希望： 窓側 / 通路側)
フリープラン：	その他個人希望日程 通信欄に希望内容をご記入ください。または別紙にご用意ください。
希望宿泊：	1人部屋利用 / 2人部屋利用 (同室者名 _____) 宿泊不要 参考までにお聞かせ下さい： 喫煙 / 禁煙 (ご希望に添えない場合もございますので、予めご了承下さい。)
海外旅行傷害保険：	加入を希望する(後日申込書をお送り致します) / 不要 未記入の場合は不要扱いとさせていただきます。
渡航中の国内連絡先 氏名：	
続柄：	電話：(_____) _____

通信欄 <希望事項等ございましたら、自由にご記入下さい。>

【ブルージュ】ブルージュとは「橋」という意味で、ローマ時代にかかっていた橋に由来する名です。運河が縦横に走り、その景観の美しさは「屋根のない美術館」と呼ばれるほど。かつての内港は、恋人たちの憩いの場として「愛の湖」Minnewater と呼ばれるようになりました。

マルクト

市の中心となる広場(グランプラス)。ギルド・ホールの偉容とその上にそびえる鐘楼が、かつての繁栄ぶりをしのばせます。東側の建物は、西フランドル州庁舎。

鐘楼

13世紀に建設されたものですが、その後拡張されています。鐘楼は高さ83メートル。366段の階段を登る途中で、総重量27トンというカリヨン(ここでは4オクターブ47個の鐘)や、自動演奏装置が見られます。



市庁舎

1376年に着工、1420年に完成したフランドル最古の市庁舎。2階の「ゴシックの間」は、天井がオーク材のアーチ。

ベギン会院

中世に始まったベギン会は、一人の指導者のもとに質素で敬虔な生活を送る婦人たちの集団で、会院(ベゲインホフ)の中で起居していました。ブルージュのベギン会は、1245年にフランドル伯夫人によって設立されたものですが、現在の建物は17世紀以降のものです。現在はベネディクト会女子修道院として利用されています。



【アントワープ】「青い鳥」の作者メーテルリンクの故郷。16世紀の神聖ローマ皇帝カール5世も、この地で生誕。彼の庇護の下に黄金時代を迎えたこの町は、ブルージュと並ぶ北方ルネサンス発祥の地でもあります。聖パーフ大聖堂にあるファン・アイクによる門外不出の祭壇画「神秘の子羊」はフランドル美術の最高傑作です。近年は臨海工業地帯として発展し、西フランダース地方の中心都市に生まれ変わりました。現代と中世が美しく調和した、人口25万の「花の都」。

聖パーフ大聖堂

地上部はゴシック様式。中に入ると、高い天井、豪華な装飾に目を奪われます。ヤン・ファン・アイク作(兄弟合作とも)の祭壇画「聖なる子羊の礼拝(神秘の子羊)」。象徴性豊かなフランドル絵画の頂点に立つ作品。



鐘楼

13世紀ごろにギルドによって建てられたもので、高さ91メートル。鐘楼の東隣には、15世紀に建てられた繊維ホール(ラシャ取引所)Lakenhalleがあります。

市庁舎

16世紀の建造ですが、ゴシック様式とルネサンス様式がつなぎ合わされています。「ゲントの和約」の会場。

【ブリュッセル】中世の香りたどよう石畳のグランプラス広場からスタート。市庁舎、王の家、小便小僧、ガリリ・サンチュベール、プチ・サブロン広場、サン・ミッシェル大聖堂、王立美術館、王立美術歴史博物館、王宮、楽器博物館、王立中央アフリカ博物館、ラーケン王宮、アトミウム、グラン・サブロン広場、月曜を除く毎朝の花市、週末の骨董市とクラフト市、毎日の蚤の市、アール・ヌーヴォー建築の巨匠オルタの住まい兼アトリエだったオルタ美術館など、見どころ一杯です。

グラン・プラス

市の中心となる広場で、中世には馬上槍試合も行われました。1695年、ルイ14世率いるフランス軍の砲撃に遭い、広場を取り囲む建物のほぼ全てが破壊されましたが、5年後にはもとの姿を取り戻しました。現在は毎日花市が立つほか、さまざまなイベントの会場として利用され、いつも人々で賑わっています。かつてヴィクトル・ユゴーは「素晴らしく大きい広場」と呼び、ジャン・コクトーは「絢爛たる劇場」とたたえました。市庁舎を中心にギルドハウスが立ち並び眺めは圧巻です。



ガリリ・サンチュベール

グラン・プラスの北東に続く瀟洒な商店街でヨーロッパ最古のアーケードのひとつ。「女王」、「王」、「王子」の3つの通りがあります。ネオ・クラシック様式とネオ・イタリア様式からなる。1846年から1847年にかけて建造されました。



小便小僧

17世紀にJ. デュケノワによって作られた可愛い彫像。まぬかん・ピストとかプチ・ジュリアンと呼ばれるブリュッセルの最年長市民です。今までに2度盗難に遭っています。



グラン・サブロン広場

サブロンという名は、昔ここが湿地の中の砂州だったことに由来しています。周辺には骨董屋が多く、土・日は広場に骨董市が立ちます。個性的なチョコレートショップやレストランも集まっています。

【ブリュッセル:つづき】

サン・ミッシェル大聖堂メッヘレン・ブリュッセル大司教区聖堂。前国王ボードワン 1 世とファビオラ王妃との結婚式もここで行なわれました。建物は 13-15 世紀の壮麗なブラバント・ゴシック様式です。カール 5 世とその家族から贈られたステンドグラスは 16 世紀ルネサンス様式。ブラバン公ジャン 2 世、アルベール大公、イザベル大公妃、オランダ総督シャルル・ド・ロレーヌなどの墓があります。

【ルーヴェン】9 世紀末の文献にはすでにその名が登場する古い町。ダイル川の中州に築かれたルーヴェン伯(のちのブラバン公)の居城を中心に発展しました。986 年頃に起源をもつ聖ペトロ参事会教会や、ベルギー最大の大ベギン会院(1230 年頃)や、ネーデルラントで最も重要なゴシック様式の公共建築の一つに数えられる市庁舎(15 世紀)などは特に有名です。哲学者エラスムスや神学者ヤンセニウスが教鞭をとった名門ルーヴェンカトリック大学(創設 1425 年)のあるベルギー最大の大学町としても知られ、市内には 200 ヶ所以上の大学関係施設があります。なお大学は 1968 年に言語対立から二分し、フランス語側はワテルローに近いルーヴァン・ラ・ヌーヴ(新ルーヴェン市)に移設されています。ビール町の町としても有名。

市庁舎

「石のレース」の名にふさわしい、15 世紀ブラバント・フランポワイヤン・ゴシック様式の傑作です。建築家シュルピス・ファン・フォルストによって 1439 年に建築が開始され、その後ヤン・ケルデルマンス、つづいてマティウ・ド・レイアンが監督指揮を受け継ぎ、15 世紀後半に完成しました。ルーヴェン市の貴顕や聖書の登場人物をあらわす 300 体近い人像群(19 世紀)がファサード一面を飾る様子は壮観です。



聖ペトロ参事会教会

986 年頃というルーヴェン最古の起源をもつ教会です。現在の教会堂は 15 世紀のブラバント・ゴシック様式の傑作で、市庁舎とおなじく建築家シュルピス・ファン・フォルストやその後継者の監督下に建造されました。内部にはルーヴェンの画家ディーリック・パウツの『最後の晩餐』や『聖エラスムスの殉教』などの傑作を収蔵する宗教美術博物館があります。

大ベギン会院

1998 年にユネスコの世界遺産に登録されたフランダース地方のベギン会院のひとつでベルギー最大です。1230 年頃に最初の部分が建造され、時代とともに拡大しました。平均して 200 人ほどのベギーヌ(ベギン会修道女)たちがここで暮らしていましたが、1988 年には最後のベギーヌもいなくなりました。1962 年にはルーヴェンカトリック大学に購入され、歴史的考証に基づいた修復を経て大学の宿舍などとしても利用されています。

【ナミュール】ブリュッセルの南東 60km。「ムーズ川の真珠」と讃えられる美しい街並み。古城めぐりの旅に出るのもこの街から。アルデンヌ地方観光の玄関口。

【ディナン】ナミュールからミューズ川をさらに上流。11 世紀初めに築かれた城砦の下にこぢんまりとひらけた「絵のような街」ディナン。中世以来の伝統もこの街のいたるところに。ムーズ川では川遊びも。岩山と渓谷が作り出す独特の景観銅細工ディナンドリーのふるさと。

城砦 Citadelle

1050 年に城が築されましたが、現在の姿は 19 世紀以来のもので。山の高さは 100 メートルあり、ロープウェーが、16 世紀につくられた石段で登ります。眺望はすばらしく、2 キロ川下のブーヴィーニュにあるクレヴクール城なども見渡せます。



【オルヴァル】修道院ビールの生産地として有名。修道院自体が貴重な建築物であるため、訪れる観光客は後を断たない。

【ブイヨン】フランス国境から 3 km ほどの所にあり、古くから多くの国から侵攻の拠点とされた。1830 年のベルギー条約で返還されるまでフランス、オランダに統治されていた。

【ルクセンブルグ】ベルギー、フランス、ドイツと国境を接し、森と渓谷に囲まれた美しい国です。日本と同様の立憲君主国だが、元首は国王ではなく大公と呼ばれます。香り高いモーゼルワインの産地としても有名です。

大公宮

1418 年に建てられ、一時は市庁舎としても使われていたが、火災にあい、1573 年に再建され、1841 年より大公宮となる。1890 年にオランダのギョーム三世が死去すると、現大公家ナツウ・ヴァイルヴルグ家の居城となる。

ダルム広場

この名称は、かつて衛兵の屯所があったことに由来する。この広場は、1554 年、街の大火災後、Sebastien van Noyen d'Utrecht が新たに部ラッセルの「グラン・プラス」をまねて再建。現座の広さは 84m x 64m と狭くなっている。広場周囲にはカフェ、レストランが軒を連ねる。

ボックの砲台

王宮の東側にサン・ミッシェル協会がある。この協会の背後にはボックの断崖絶壁がグルントの低地に突き出したようになっており、大きく湾曲して流れるアルゼット川を眼下に見下ろすことができる。ここからの形式は非常に印象的である。ローマ時代、トレヴ(現トリア)からアルロンを経てランスに至る街道と、メツからエクス・ラ・シャンペル(現アーヘン)に至る街道は、この近くで合流していた。

ノートルダム大聖堂

三つの塔の聳(そび)える大聖堂は、イエズス会修道士 Jean du Blocq の設計により、17 世紀に建立された。当国の国際日の儀式はここで行われる。現大公ジャンとベルギー王女ジェセフィーヌ・シャルロットの婚礼が行われた場所としても知られる。

